

このたびは、出力リレーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」と、取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

- 本機はユニペックスラックシステム組込用の10回線一斉緊急付のスピーカー回線出力制御リレーユニットで、R型スピーカースイッチユニットRIS-R101Aと組合せて使用するようになっております。また、本機1台に合計30回線までの出力制御リレーを収納することができます。リレーの追加には、オプションの回線増設リレー基板RK-U1A(5回線)と回線増設リレー用コネクタRK-U2A(10回線)をご使用ください。
- ラック組込方法は、EIAサイズラックの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の標準的な組合せに対応した別売の各種接続用コードがあります。

目次

安全上のご注意	1~3
使用上のご注意	3
各部の名称と説明(前面)	4
各部の名称と説明(後面)	4
本機の動作	5
各種機能	5~6
本機の回線増設について	7
定格	8
外観寸法図	8
サポートのご案内	8
保証書	8

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグを
コンセントから
抜け

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。

取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。

工事店にご相談ください。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセントから
抜け

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



この機器に乗ったり腰掛けたりしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



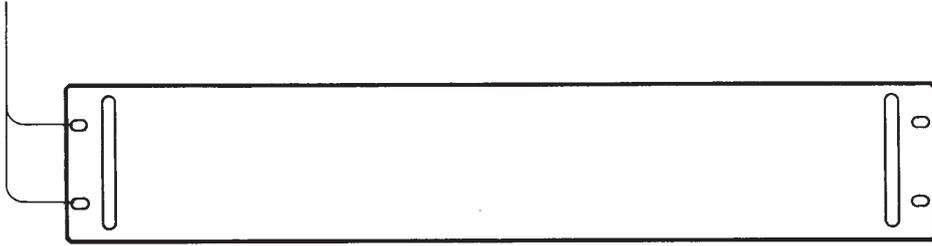
使用上のご注意

- 各回線の定格容量を越えない範囲でお使いください。
- 出力リレーが30回線分収納できますが、システムの組みかたによっては、30回線用として使用できない場合があります。
- 本機は、ハイインピーダンス用(100系、70系)です。ローインピーダンス(4Ω、8Ω等)の回線には使用しないでください。
- 本機は、D型スピーカースイッチユニットRIS-D101と組合せることができません。
- 付属の機器受金具は必ず使用してください。

各部の名称と説明(前面)

ラック取付穴

付属のねじでラックに取付けてください。



各部の名称と説明(後面)

各ユニットとの接続方法については、RUX-3210の取扱説明書をご参照ください。

JC6 制御用コネクタ

AC電源制御ユニットRIP-2A31、RIP-2A51と接続します。

JC8 スピーカー回線出力用コネクタ

外部スピーカー回線と接続します。

ラック取付穴

付属のねじでラックに取付けてください。

JC13 JC14 JC15

スピーカー回線出力制御リレーを増設するときに使用します。

JC10 JC11 JC12

スピーカー回線出力制御リレーを増設するときに使用します。

JC5 制御用コネクタ

増設されたRIU-2301Aと接続します。

JC1 制御用コネクタ

R型スピーカースイッチユニットRIS-R101Aと接続します。

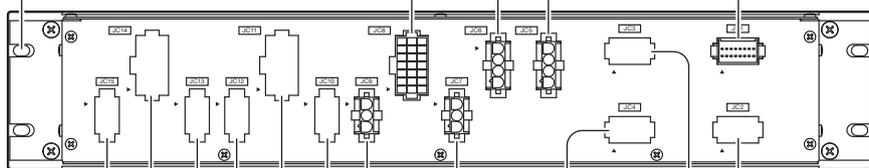
JC2 JC3

スピーカー回線出力制御リレーを増設するときに使用します。

JC4 予備

JC7 JC9 PA入力用コネクタ

電力増幅ユニットRIA-3241、RIA-2121などと接続します。



注)コネクタ付近の三角マークはコネクタの1番ピンの位置表示です。

本機の動作

① 特徴

本機は、R型スピーカースイッチユニットより制御信号をもらって、スピーカ回線の入・切を行います。本機は、5回線単位で増設ができ、合計30回線まで収納することができます。また、5回線ずつのグループに分けて使用することもできます。

② 本機の接続

各部の名称と説明(後面)の項のとおり、各コネクタを指定されたユニットのコネクタに接続してください。別売の接続用コネクタをご使用されますと簡単に接続できます。なお、標準的な組合せでない場合、あるいは別売のコードをご使用にならない場合は、別途ご手配ください。

注) 本機はコネクタ「JC6」をAC電源制御ユニットRIP-2A31、RIP-2A51に接続して、DC電源が供給されないと動作しません。

③ 各回線の制御容量

回線(1~10)	1回線	500W(5A)
	10回線合計	1kW(10A) 一斉緊急放送時

④ 各コネクタの最大通電電流

PA入力	JC7	JC9	最大10A
スピーカ出力	JC8		最大5A/1ピン
			N(ホット) 5A/回線
			R(緊急) 10A
			C(COM) 10A

この値を越えない範囲でご使用ください。

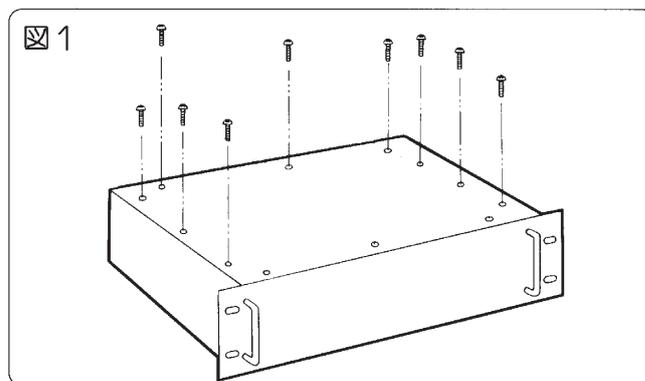
各種機能

本機のふたのはずしかた

上ふたを止めているねじ9本をはずし、上ふたを取り外してください。(図1参照)

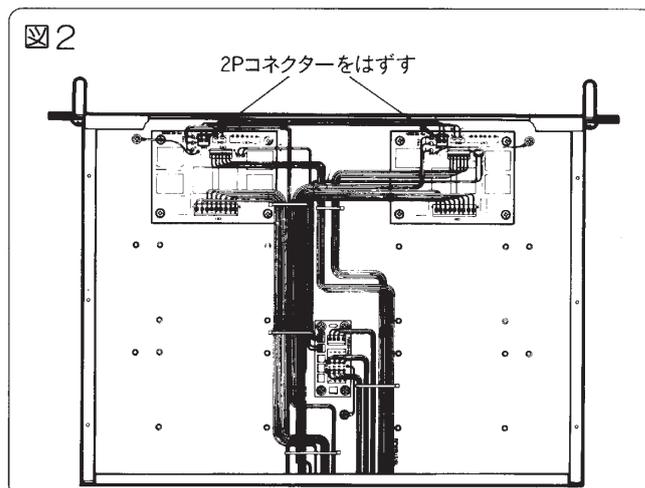
① 出力リレーユニットの増設

本機を増設することができます。



② 5回線ずつ2グループに分割ができます。

本機のPA入力コネクタは2個ついています。(JC7) (JC9)また、出力リレー基板も5回線(一斉緊急リレー付)ずつ2枚になっており、各々にPA入力コネクタが接続されています。PA入力は基板間で相互に接続されていますので、このコードを取りはずしますと、分割して別々に使用できます。(図2参照)



③ スピーカー回線出力制御リレーの増設

本ラックシステムでは、出力リレーユニットは10回線用 (RIU-2301A) のみで、多回線の仕様の場合は、出力制御リレーを増設していただくようになっています。

- 1) 最大増設数 20回線(既設を合わせて合計30回線)となります。その場合の必要なオプションは次の製品が必要です。

回線増設リレー基板 RK-U1A 4台
 回線増設リレー用コネクタ RK-U2A 2台

●回線増設リレー基板 RK-U1A(図3)

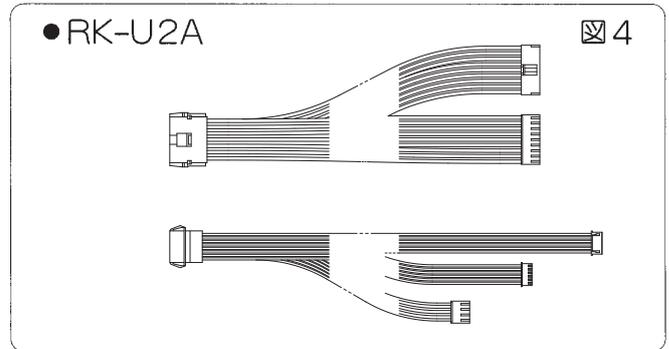
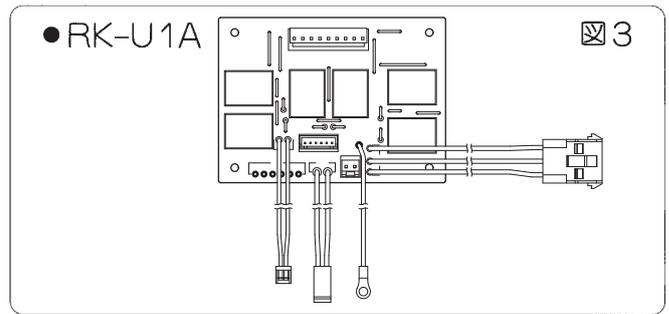
この基板は5回線です。回線数に応じ、基板を増設してください。

●回線増設リレー用コネクタ RK-U2A(図4)

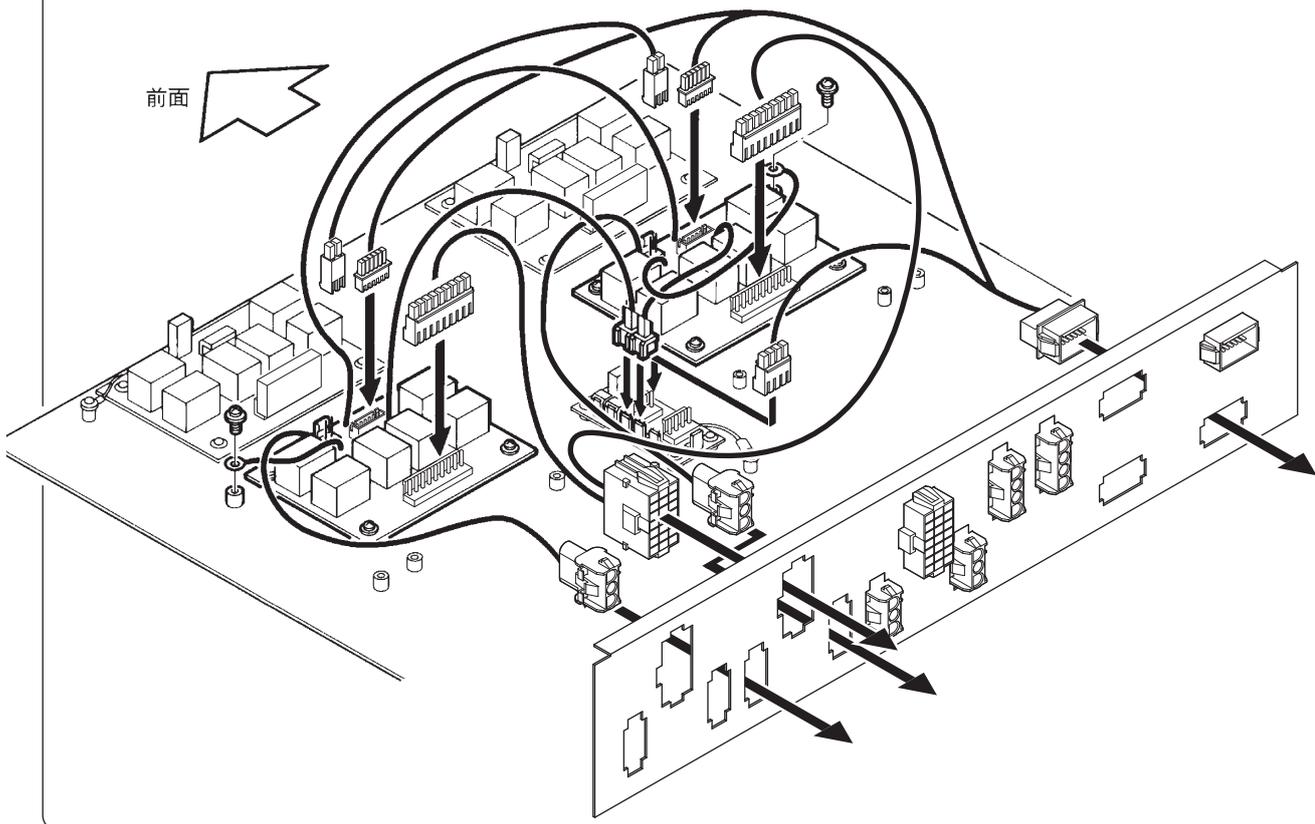
RK-U1Aを接続するコードです。このセットでRK-U1Aを2組増設できます。

- 2) 増設の方法

組込み済のものになって取付けてください。
 (オプションの取扱説明書を合せてご覧ください)



●RK-U1A、RK-U2A 組込図

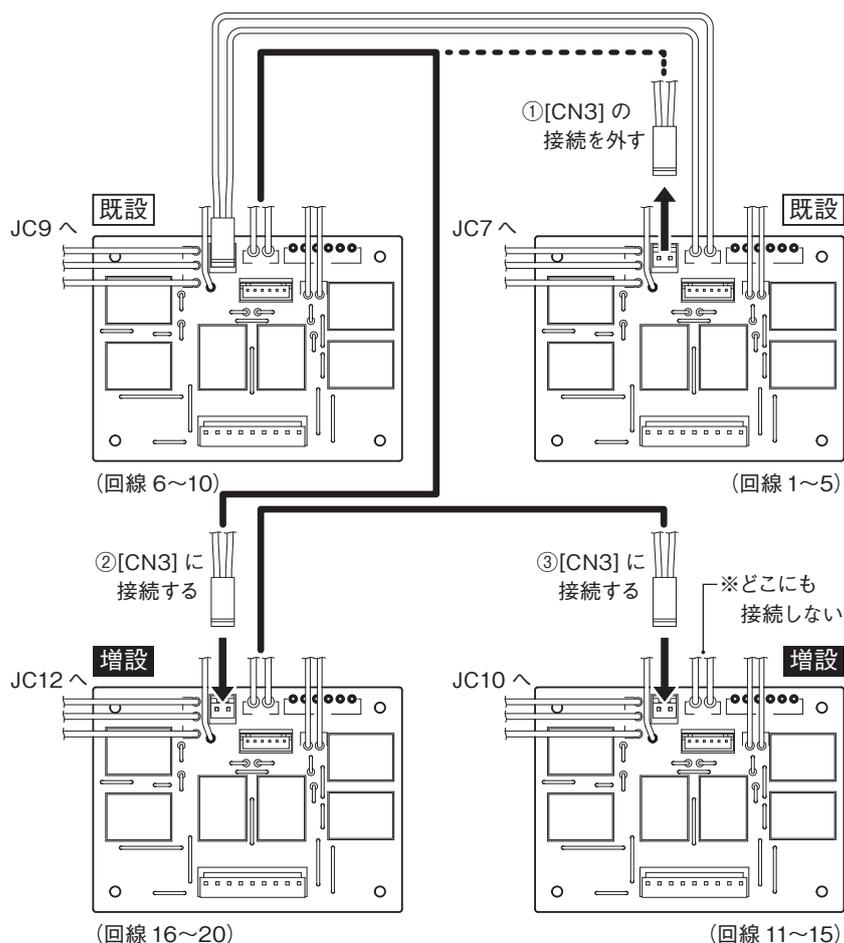


- 注)** ア) 取付け後、オプション付属のコードバインダーで各線を組込み済のものになって束線してください。
 イ) 15回線、25回線の場合は、RK-U2Aのコネクタが半分余ります。余ったコネクタが動かないように束線してください。
 ウ) 後面シャーシにコネクタを取付けるときは、組込み済のものになって同じ方向に取付けてください。三角マーク表示の位置へ1番ピンがきます。また、JIC番号の若い場所からご使用になり、接続の記録をしておられますと、後日の点検や変更のときに便利です。
 エ) リレー基板のPA入力を並列に接続する場合には、リレー基板のCN6のコードを別の基板のCN3に接続してください。(このコネクタの最大通電電流は6.5Aですから、この値を超えないようにしてください。)

本機の回線増設について

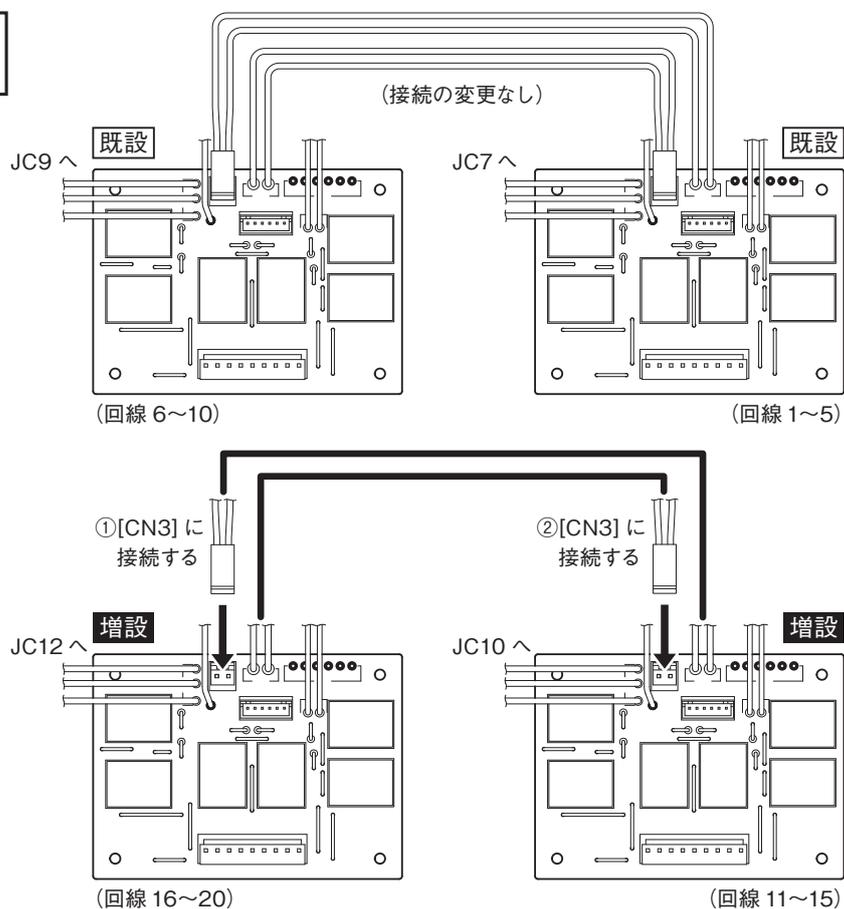
10回線を20回線に増設する場合

- ① 既設リレー基板（回線 1～5）の CN3 の接続を外してください。
 - ② 外したコネクタを、増設リレー基板（回線 16～20）の CN3 に接続してください。
 - ③ 増設リレー基板（回線 16～20）の CN6 を、増設リレー基板（回線 11～15）の CN3 に接続してください。
- ※ 増設リレー基板（回線 11～15）の CN6 は、どこにも接続せず、動かないように束線してください。



10回線×1グループを10回線×2グループに増設する場合

- 既設リレー基板は接続の変更はありません。
- ① 増設リレー基板（回線 11～15）の CN6 を増設リレー基板（回線 16～20）の CN3 に接続してください。
 - ② 増設リレー基板（回線 16～20）の CN6 を増設リレー基板（回線 11～15）の CN3 に接続してください。

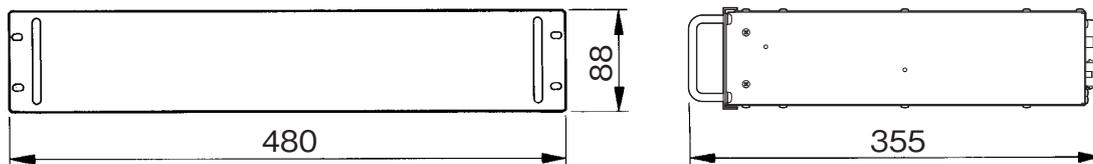


定格

使用電源	DC24V (制御用電源より受電)
消費電流	DC0.2A (最大消費時の平均)
PA入力	2入力 並列 ハイインピーダンス100系あるいは70系
出力回線	10回線 3線式 回線容量 1回線 500W(5A) 10回線 1kW(10A) 緊急放送時
制御ユニット間接続器	スピーカースイッチユニット用 1 電源制御ユニット用 1 増設出力リレーユニット用 1
付帯機能	5回線 1グループとして2系統に分割して使用出来る
使用温度範囲	-10℃ ~ +50℃
外装	パネル：鋼板 塗装仕上げ マンセルN4.5 近以色 グレー ケース：メッキ鋼板
寸法	幅 480mm 高さ 88mm 奥行 355mm (EIA サイズ 2U)
質量	約4.5kg
付属品	M5×9ねじ 4、M5×10セムスボルト 4、機器受金具 2、取扱説明書(保証書付)1
付加機能	最大20回線の増設が可能(回線増設リレー基板RK-U1A×4、回線増設リレー用コネクタRK-U2A×2組込時)

外観寸法図

(単位 mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ
もしくはQRコードにアクセス
してください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX 0120-56-5245 (通話料無料)

お客様ご相談センター 受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、
072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

出力リレーユニット RIU-2301A 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)